

株式会社ながやR

DIY 業界の市場拡大を目的に新しい航路へ、
ながやRという船の船長として
大海原へ出航している

まもなく昭和時代にタイムスリップしたような空間。
コストの安さと職住一体に魅力を感じ、長屋暮らしを選択。



代表取締役船長
小笠原親秀さん

新しいものや画一的なものより、長屋のような古い中にも味のある雰囲気が好きだったんです。
空き家期間が長い長屋は色んな部分が老朽化しているので、リフォームが必要。
ならば、自分の気持ちが上がるような好きな空間に作り変えてしまおう。
そんな思いを、DIYがかなえてくれるんです。とはいえ、長屋がどんな風に生まれ変わるのか不安もあるはず。
そこで、僕の住む長屋を実際に見てもらって、空間の使い方、暮らし方をイメージしてもらいたと思っています。
みんなでDIYすることによってコミュニティが生まれると思っています。お店だと常連客を呼んで一緒に作り上げる。
家だとDIYに興味を持つ人やご近所の方と。いろんなコミュニティが広がっていくことがおもしろいんです。
だからこそ、もっともっとDIYへの興味関心が広がってほしい。そのために、ワークショップを開催したり、異業種とのコラボなどを積極的に取り組んでいきたいと思っています。
今後、実現させたいことがいくつかあります。その一つは、子ども向けの安全な工具や道具の開発です。
安全面への配慮なのか、子どもたちが忙しいのか、子どもたちがもの作りする時間が減っています。
かなづち、のこぎり、ドライバー…安全に使える工具や道具があれば、もの作りにチャレンジする子どもたちが必ず増えるはず。
それが、DIY業界の市場拡大にもつながれば、と思っています。



若い世代に長屋への興味をもってもらうには、リアルにライフスタイルを見せることが効果的なPRになると感じ、自宅兼ショー・ルームを併設したオフィス(店舗も含む)をオープン。

2年かけて長屋をDIY オフィス兼自宅を公開

5軒長屋というのをご存知だろうか。長屋とは複数の住戸が屋根を共有し、壁一枚だけでの隔たりでつながっている建物。特に生野区では、長屋が今も多く残っているが、長屋の老朽化や空き家が目立ち、大きな問題になっている。

「ながやR」の船長・小笠原さんは、長屋の魅力にとりつかれた一人。自身も築60年以上の5軒長屋に賃貸で住み、家主の許可をもらって2年以上かけてDIYで自分好みにカスタマイズしている。1階はオフィス、店舗。全国の金物屋さんから仕入れた昔の金物、大工道具、工具、日曜雑貨などの商材をディスプレイし、一部在庫のあるものは販売もしている。2階は、小笠原さんの自宅とショールームになるが、この自宅部分のプライベート空間も開放している。

小笠原船長は建築現場で施工や管理を経験したのち、約2年前までDIY商材を販売する会社に勤務し、商品企画やバイヤーを経験した。DIYで作ること、DIY商品を売れることを身に付け、DIYの魅力をも自分スタイルで伝えたいと独立した。

現在の事業は、主に3つ。メインは、DIYをサポートする事業。主に法人の依頼が多く店舗の内外装や什器のカスタマイズなど、一緒に作ることを目的とした参加型のDIYを行うための施工指導やサポートをトータル的に行う。2つ目は、住宅以外の異業種との連携。具体的には、ブライダル事業会社と契約し、新郎新婦に向けてウェディングアイテムを作るワークショップを開催している。会場の一部や全体を新郎新婦や関係者と一緒にDIYで作るセルフDIYウェディングも今後チャレンジしたいと話す。3つ目は、物販。バイヤー経験を生かし、全国の金物屋をめぐり、廃番になっている商品を買ってイベントや店舗で販売。金物屋に眠っているデッドストック商品の流通は、今後、大きなビジネスになると確信している。

DIY、長屋再生、金物屋、デッドストック。小笠原船長の活動は、古いものに命を吹き込むもの。若い世代にとっては、それが逆に新しく、魅力を感じるのかもしれない。

株式会社 ながやR

<https://www.nagayar.com/>
〒544-0002 大阪市生野区小路1-28-21
TEL 06-6732-4922

事業内容 / ワークショップ企画・運営・開催 店舗、住空間作りにおける施工指導、道具の使用法の指導等のトータルサポート
プロダクト企画、開発 DIY関連商材の卸売り



古いものをきれいにするのは、リフォームの業者にお任せすればよい。僕は、古いものをどう生かしていくかを考える。



ながやRという空間の全てを自分好みのレトロと新しいが入り混じる場にしたい

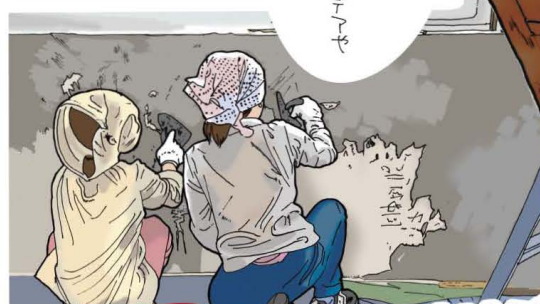
住まいの機能は、最新のものがいい。ただ僕はマンションよりも、低い位置で生活したい。隣や前に住んでいる方など、地域の方でDIYやDIYが生まれ、それがあもしろい。

金物屋の廃番品に古き商材が、販路を伸ばすケースもある。DIYユーザーに販売のチャンス。両者はあると盛り上がる。

単に建物をリノベーション(再生)したりDIYワークショップ。地域の子どもたちへ引出したDIY世代が楽しく交流できたり、モノづくりの技術を教えられる場所を作りたい。

豊富なワークショップ経験と企画から考えるフルオーダーメイド型の魅力的なワークショップを古きモノと今の新しいモノと融合して現実実現します

昔の「リノベーション」として考えられている。モノを壊して新しいモノを造るのではなく、古いモノを大切にしながら、新しいモノを加えていく。



我が社の自慢 「ながやR」はご近所のお年寄りや子どもたちが気軽に出入り出来るフリースペースにもなっている

ご近所の方は、木のまな板の表面を削ってほしいとか、ネジをしめてとか。子どもたちは、ふらっと学校帰りに遊びに来る。それだけ、居心地のいい空間だと言える。

